

未来づくり 感響プロジェクトとは

感響プロジェクトは、高校生を対象に「旭川家具の魅力」や「家具・建具製造業や林業の職業としての素晴らしさ」を学ぶ「木育」の新たなプログラムです。

日本有数の木製家具産地の一つである旭川地域が持っている、自然、産業、歴史、文化を若い世代に伝えるとともに、現在直面している課題を木に携わる仕事で活躍しているエキスパート達とともに考えていこうという思いのもと、本物のモノの価値を知ることができる学習ツールを作りました。



このパンフレットは、「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用して作成しています。

寄附企業 **MEIWA 明和地所**

2018年と2019年の授業の様子は下記HP参照

<http://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/sr/nsr/kannri/rikatu/syoukai/kankyoprojekt.htm>

https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/csr/2016_0708/kankyo-project.html

木材標本の利用や
プログラムの実施など
お問い合わせは
こちらまでお気軽にどうぞ

北海道上川総合振興局
南部森林室 木育推進

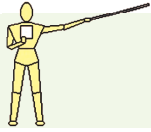
〒079-8416
北海道旭川市永山6条19丁目1
電話 0166-46-5999

木のまち旭川 「未来づくり感響 プロジェクト」

TO ASAHIKAWA FURNITURE FROM FOREST



森と旭川家具の繋がり



学習ツール

1. 学習プログラム

3年間のプロジェクトで2つのプログラムを作成しました。

◆プログラムの進め方と内容

- 旭川エリアの家具産業を下流（家具製品）から上流（森林）へ遡る
- 林業、製材工場、家具工場などの現場を見学し、デザイン、営業、販売、企画などの家具づくりに関する仕事やその内容の紹介

木製品 → ショップ → 工場 → 森



プログラム1の内容

- 木製品との出会いと森の入り口（木工体験）**
 - 簡単な木工体験を通して、木の触り心地、香り、表情を感じる
 - 木や森が身近な存在になる第一歩としてのネームプレートづくり（旭川家具でよく使われる木材4種、ナラ・タモ・カバ・エゾマツ等を使う）
- 木材から製品に至るものづくりの中での価値づくり（旭川デザインセンター見学）**
 - 家具に使う木材の産地・種類・特徴
 - デザインに対する考え方（木材の価値を高めるデザイン）
 - 作り手の思いをどのように製品に込めるか
 - 製品と消費者をどのようにつなげるか
- ものづくりの現場としての家具工場（旭川地域の家具工場見学）**
 - 手作業と機械が融合した家具工場（機械の作業と手作業の違い）
 - 手作業の優位性とは？大量生産・大量消費型家具づくりとの違い
- 木がもつ多様な可能性を育むこれからの森林づくり（木材標本等を活用した座学）**
 - 北海道、上川管内（旭川周辺）の森と木
 - 「家具の資源」から「地域の資源」への森林づくりにおける考え方の転換
 - 森と繋がった家具づくりに向けて。木だからこぞできる家具の価値づくり

◆プログラムの進め方と内容

- 主に高校生を対象に、上流（森づくり）から下流（家具販売）までの「つながり」を学ぶ
- 目標「旭川デザインセンターで売るための家具」を考えるものづくり過程の3つの視点から学び・考え、旭川デザインセンターでどんなコンセプトや考え方を持った家具を売らなければならないかを考える
 - 資源、材料の出所の森づくり「森チーム」
 - 木から製品を製造する工場「工場チーム」
 - 家具を消費者に売る販売「販売チーム」



販売

工場

森

ディスカッション

プログラム2の内容

- 旭川デザインセンターへ**
 - オリエンテーション
 - 旭川デザインセンター見学
 - チーム分け
- 森 (Forest) チーム（学校や森等で行う）**
 - 動植物や樹木の役割、林業、生物多様性等について解説
 - 実際に現地（山）に行き、木の種類・特徴や森林保全について解説
- 工場 (Factory) チーム（学校や家具工場等で行う）**
 - 実際に工場等に行き、ものづくりに触れながら旭川の家具材や材料の特徴等について解説
 - 木材の特徴や実際に家具ができるまで等について解説
- 販売 (Sales) チーム（旭川デザインセンター等で行う）**
 - 旭川家具の産業、木製品の実情、取り組み、流通の仕組みについて解説
 - 旭川デザインセンターに行き、展示家具を見ながらメーカーや家具職人について解説
- 3チーム合同で（学校で行う）**
 - それぞれのチームで考えた「旭川デザインセンターで売るための家具」の発表
 - ディスカッション
 - 総評



2. 教材（木材標本）

樹種はミズナラ、ダケカンバ、エゾマツの3種類



・ミズナラ

旭川家具ではよく使われてきた樹種。虎の模様のような虎斑（トラフ）が狂目の板にでるのが特徴。



・ダケカンバ

緻密だが加工性が良く、錦糸光沢があるのが特徴。



・エゾマツ

木目がはっきりしていて白くて軽い。独特な香りもある。

3. 学習テキスト

